

## 薬剤部 DI ニュース

## 医療安全管理について(シリーズ18)

## ～ 添付文書のスピードでは速すぎる脂肪乳剤の投与速度 ～



《病棟での会話》

看護師: イントラリポス250mLの投与終わりました。

医師: まだ2時間しか経ってないよ。速すぎる。

これでは脂肪がきちんと吸収できていないよ。

## Q 脂肪乳剤をゆっくり投与するのはなぜ？

A 脂肪をきちんと代謝させるため。速く投与すると加水分解することができず、十分に脂肪を利用できない。

投与速度が速すぎると、血漿は白濁した状態になる



加水分解されない脂肪粒子が血中に蓄積



**脂質異常症、感染性合併症、血栓症などの原因になる!!**  
急速投与による副作用の初期症状: 熱感、発熱、悪心等

イントラリポスのような脂肪乳剤は  
成人: 0.10g/kg/hr 以下  
小児: 0.08g/kg/hr 以下 の速度で投与



※20%イントラリポスの添付文書では

「通常1日250mL(ダイズ油として20%液)を3時間以上かけて点滴静注する」と記載されている⇒しかし、体重50kgの人に3時間で投与した場合、投与速度は0.333g/kg/hrとなり副作用発現の可能性あり↑

## 体重別イントラリポス投与速度および投与時間の目安(成人)

体重(kg)	30	40	50	60	70	80	90	100	目安
20%製剤投与速度 (mL/hr)	15	20	25	30	35	40	45	50	[体重(kg)÷2]mL/hr 以下の速度

参考文献: イントラリポス添付文書, エキスパートナーズ2008年6月号,

入山圭二, 中心静脈栄養法施行時の脂肪乳剤投与の現状と問題点, 栄養一評価と治療, 26(4), 324-327(2009).